

看護部

12階病棟

12階病棟は総合内科，呼吸器内科を有する57床の病棟です。総合内科では急性期における治療の援助はもちろん，高齢者のケアがとても重要となります。身体的・精神的なアセスメントをするためにも疾患に対する治療・看護まで幅広い知識が必要になります。その為，定期的に勉強会を行い，スタッフが知識の習得から実践に生かせるよう取り組んでいます。また，高齢者ケアの中で退院支援はとても大切です。日常生活の援助はベッドサイドで関わりを持つ看護師の大きな役割となります。スムーズな退院支援ができるよう，医師・リハビリ・MSWとの合同カンファレンスを行い情報共有に努めています。

また，呼吸器内科は放射線治療を受ける患者さんの看護ケアやIVR，気管支鏡などの検査前後の看護ケアを行います。癌患者さんの看護で終末期の患者さんに接する機会も増えました。急性期の患者さんと関わりながらも終末期の患者さんと関わる難しさを感じる事もあります。週に1回，医師からの症例のレクチャーを受ける事で患者の全体像を把握し，治療がスムーズに受けられるよう支援しています。

看護体制としては固定チームナーシングを実践しています。また，継続受持ち制を取り入れ，患者さんの個別性に合わせた看護を展開しています。さらに，チーム内でカンファレンスを実施し看護計画の立案・見直しを行っています。

高齢者看護において，看護師のよる日常生活の支援は重要です。スタッフ一人一人の力を発揮し，安心して元の生活に戻れるような看護ケアを実践しています。